

道がつなぐパートナーシップ

みやぎスマイルロード・プログラム

「みやぎスマイルロード・プログラム」サポーターに、新しく(有)小熊建設(村山桂子代表取締役)が認定されました。宮城県が管理する道路の美化活動を行うボランティアの方々を支援する同プログラム。12月末現在、県内で232団体が認定され、市内では8番目の認定となります。1月12日、市役所で行われた認定式では、中川淳宮城県大河原土木事務所長が認定書を交付し、風間市長も激励の言葉を贈りました。

同社は、県道北白川停車場犬卒都婆線の約3,370mの区間で清掃活動を行います。



▲表示板見本を手に記念撮影

二十歳の門出を祝いました

白石市手をつなぐ育成会・成人を祝う会



▲新成人の2人を囲んで記念撮影

1月16日、障害を持つ子どもとその保護者でつくる「白石市手をつなぐ育成会」(蓮田明会長)主催の「成人を祝う会」が、ふれあいプラザで開催されました。

二十歳を迎えたのは、蔵王すすしろで働く山谷康幸さんとニューホワイトクリーニングで働く佐藤誠さん、やまぶき園で働く大浦拓也さんの3人。この日は、山谷さんと大浦さんが出席し、「これからも仕事を頑張ります」と成人としての抱負を述べ、出席した保護者や教育・福祉関係者など約40人が、温かい拍手で二十歳の門出を祝いました。

子どもたちの笑顔が地域の源

鷹巣地区「第7回もちつき大会」

1月16日、鷹巣自治会青年部「たかのすはっぴ会」(齋藤隆夫会長)主催の「もちつき大会」が、同地区内の観福寺で開催されました。7回目を迎えたこの行事には、子どもから大人まで約150人が参加。子どもたちが元気にもちをついたほか、「昔の風習を受け継いでいきたい」と、カルタやあやとりなどの昔遊びをしたり、獅子舞が登場したりと、大人も子どもも一緒になって楽しい一日を過ごしました。同地区では、4月に自主防災組織を結成予定。「みんながふれあうことで地域をつなげたい」と、佐藤昭自治会長は話してくれました。



▲雪の中でも元気にもちつき!

たくさんの「喜び」を感じる場として

白石市生きがいデイサービスが10周年



▲全国老人クラブ連合会推薦曲「幸世おんど」を笑顔で披露!

1月17日、65歳以上で介護保険を利用しない方を対象に、生活指導やレクリエーション活動などを提供する「白石市生きがいデイサービス(ほっとくらぶ)」が10年の節目を迎え、その記念式典を薬師の湯で開催しました。

利用者を代表して松野ヨシ子さんが「友達に会える喜び、体を動かす喜びなどたくさんの喜びを得ることができました」とあいさつ。また、独自に振り付けを考案した「幸世おんど」を参加者みんなで元気に踊りました。

平成12年に始まった同サービス。現在は週1回、スパッシュランドしろいしと薬師の湯で行っています。

昔遊びに大喜び

第二幼稚園で「昔遊び」

1月19日、「昔遊びの会」が第二幼稚園で開催されました。この催しは、南町の「ボランティアみなみの会」(佐竹達雄会長)の皆さんと園児の交流の場として始まり今年で21年目。この日は、同会のメンバー21人が、はねつきやこままわし、折り紙、あやとり、お手玉などの昔遊びを童心に帰って約100人の園児に指導しました。

園児たちは、昔遊びに大喜び。次々に見よう見まねで昔遊びに挑戦しました。お手玉に挑戦した園児は、「うまくできなかったけど面白いです」とはしゃぎながら昔遊びを楽しんでいました。



▲お手玉に挑戦する園児たち

絵札を背負い追いかけて

白川小学校・動くジャンボカルタ取り大会

1月27日、「第34回動くジャンボカルタ取り大会」が白川小学校(蓬田和弘校長)で開催されました。この日は、全校児童71人のほか、今年入学予定の保育園・幼稚園の園児たちも参加。読み札が読まれ競技が始まると、絵札を背負い逃げ回る児童を追いかけ、児童たちの歓声が校庭いっぱい響き渡っていました。

今年のテーマは「家庭」。「温かい 家庭の笑顔 うれしいな」「寝るときに 家族そろって 川の字に」など、読み札や絵札の内容は毎年、テーマを決めて児童が考えつくっています。



▲絵札を追いかける児童たち

元気に100歳を迎えました

高野ひでをさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご長寿を祝福しました

1月27日に満100歳の誕生日を迎えた高野ひでをさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。ひでをさんは白川内親に生まれ、お子さんが5人、孫が3人、ひ孫が1人います。娘の佐久間よし子さんにひでをさんの長生きの秘けつを聞くと、「好き嫌いなく食べて、のんびりと過ごしてきたことでしょうか」と話してくれました。現在は、蔵王町の介護老人保健施設リラの郷に入所中のひでをさん。この日は、ご家族のほか、施設関係者や施設を利用する皆さんがたくさん集まり、ご長寿を祝いました。

心の中の悪い鬼 出てけえ~!

すまいるひろばで「豆まき大会」



▲元気に豆まきをする園児たち

2月2日、昔・むかしを伝える会(金原輝美代表)と白石まちづくり(株)が共催する「豆まき大会」がすまいるひろばで開催され、市内の幼稚園児約250人が手作りの鬼の面をかぶって参加しました。「ちらかし鬼」「風邪引き鬼」「暴れん坊鬼」の3匹の鬼が登場すると、園児たちは「鬼は外! 福は内!」と元気な声を掛けながら、新聞紙を丸めて作った豆を鬼に投げつけて退治しました。

今年で7回目を迎えたこの催し。子どもたちが伝統行事を体験することで、次の世代に引き継いでいってほしいという願いが込められています。